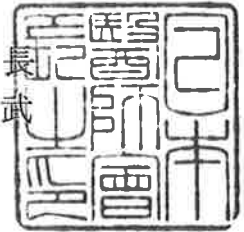


平成26年11月18日

都道府県医師会長 殿

日本医師会 会長
横倉 義武



インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に関する研究に対する協力について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度の厚生労働科学研究事業において、厚生労働省の指定に基づき標記の研究が行われることとなり、当該研究にかかる調査への協力について、厚生労働省健康局結核感染症課長・医薬食品局安全対策課長連名にて、各都道府県等衛生主管部(局)長宛通知され、本会に対しても協力依頼がありました。

本調査はインフルエンザ様疾患罹患時及び抗インフルエンザ薬使用時に見られた異常な行動が、医学的にも社会的にも問題になっていることから、その背景に関する実態把握をするために実施されるものであります。

本調査の対象はインフルエンザ定点ほか主に内科・小児科の約7万医療機関であり、インフルエンザ定点以外の医療機関については、インフルエンザ様疾患と診断され重度の異常な行動を示した患者について報告を求めるとともに、インフルエンザ定点医療機関については、重度の異常な行動に加え、軽度の異常な行動についても報告を求めています。報告対象期間は、平成26年11月～平成27年3月となっております。

つきましては、貴会におかれましても本調査の趣旨をご理解いただき、貴会管下郡市区医師会及び医療機関に対する周知協力方につきまして、格別のご高配をよろしくお願い申し上げます。



健感発 1107 第 2 号
薬食安発 1107 第 2 号
平成 26 年 11 月 7 日

公益社団法人日本医師会長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長

厚生労働省医薬食品局安全対策課長

インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に関する研究
に対する協力について（依頼）

標記について、昨年度に引き続き、平成 26 年度厚生労働科学研究事業において、厚生労働省の指定に基づき下記の研究が行われることとなっています。

当該研究に係る調査については、別紙によりインフルエンザ定点のほか主に内科・小児科の約 7 万医療機関に送付されますが、医療機関から当該研究班への症例の報告について、貴団体所属の医療機関からの積極的な症例の報告につき、御協力をいただきたくお願い申し上げます。

なお、本件については、別添写しのとおり、各都道府県・政令市・特別区衛生主管部（局）長に通知していますので、申し添えます。

記

研 究 名：インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に関する研究
（平成 26 年度厚生労働科学研究医薬品等規制調和・評価研究事業）

研究代表者：川崎市健康安全研究所所長 岡部 信彦

※昨年度の報告は次の URL（厚生労働省ホームページ）で御覧いただけます。
<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000063417.pdf>

別紙

平成 26 年 11 月 7 日

各 医 療 機 関 御 中

インフルエンザ様疾患罹患時の
異常行動に関する研究班

インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に関する研究
に対する協力をお願いについて

時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成 26 年度厚生労働科学研究医薬品等規制調和・評価研究事業において、厚生労働省の指定に基づき下記の研究を行うこととなっています。当該研究に係る調査について、医療機関から当該研究班への症例の報告について御協力をいただきたく、よろしくお願いいたします。

また、本調査に関する協力依頼等については、別添写しのとおり、厚生労働省健康局結核感染症課長及び医薬食品局安全対策課長から、各都道府県・政令市・特別区衛生主幹部（局）長及び医療関係団体の長宛てに通知されておりますので、併せてお伝えいたします。

記

研 究 名：インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に関する研究
（平成 26 年度厚生労働科学研究医薬品等規制調和・評価研究事業）

研究代表者：川崎市健康安全研究所所長 岡部 信彦

調査内容等：

- 感染症法に基づくインフルエンザ定点以外の医療機関
・・・別記様式 1（重度調査）のとおり
- 感染症法に基づくインフルエンザ定点医療機関
・・・別記様式 2（重度調査及び軽度調査）のとおり

※昨年度の報告は次の URL（厚生労働省ホームページ）で御覧いただけます。
<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000063417.pdf>

インフルエンザに伴う異常な行動に関する調査のお願い

〔インフルエンザ定点以外の医療機関用〕

インフルエンザ様疾患罹患時及び抗インフルエンザ薬使用時に見られた異常な行動が、医学的にも社会的にも問題になっており、2007 年から調査をお願いしております。厚生労働省では、引き続き、その背景に関する実態把握をいたしたく、国立感染症研究所により研究を行うこととしておりますので、以下のとおり、当該研究にかかる調査への御協力をお願いします。

〔調査の概要〕

重度の異常な行動に関する調査（重度調査）

〈調査依頼対象〉： 全ての医療機関

〈報告対象〉： インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、重度の異常な行動[※]を示した患者

※飛び降り、急に走り出すなど、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動（別添（報告基準）参照）

〈報告対象期間等〉：平成 26 年 11 月～平成 27 年 3 月

平成 26 年 11 月 1 日以降、報告対象症例を診察されるごとに、随時、報告してください。

〈報告方法〉： インターネット（下記 URL から入力） 又は
FAX（別紙様式により報告）

URL： <http://953862.net/>

ID： 御自身のメールアドレスを入れてください

初期パスワード： kansenken

(別添) インフルエンザに伴う異常な行動に関する報告基準 (報告基準)

(重度調査) インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、**重度**の異常な行動を示した患者につき、御報告ください。

インフルエンザ様疾患

臨床的特徴（上気道炎症状に加えて、突然の高熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛を伴うこと）を有しており、症状や所見からインフルエンザと疑われる者のうち、下記のいずれかに該当する者

- 次の全ての症状を満たす者
 - ①突然の発症、②高熱（38℃以上）、③上気道炎症状、④全身倦怠感等の全身症状
- 迅速診断キットで陽性であった者

重度の異常な行動

- 突然走り出す
- 飛び降り
- その他、予期できない行動であって、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動

※ 該当する患者さんがおられない場合は、報告の必要はありません。

※ インフルエンザ定点医療機関とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律により都道府県に指定された、毎週インフルエンザの患者数を保健所に報告する医療機関のことです。

※ この調査において報告をお願いする「患者さんに関する異常な行動に関する情報」は、個人情報の保護に関する法律で定められた『個人情報』には該当いたしません。

なお、報告いただいた内容（症状や使用薬剤等）に関して、後日、照会を行う場合がありますため、「医療機関名」及び「報告医師名」について記載いただくこととしておりますが、これらの情報につきましては、調査研究報告書作成後、直ちに廃棄する予定です。

※ 調査報告に関する疑義・お問い合わせにつきましては、国立感染症研究所感染症疫学センター（連絡先 大日（おおくさ）tel:0120-577-372 fax:03-5285-1129 e-mail:ohkusa@nih.go.jp）まで、お願いします。

インフルエンザ様疾患罹患時異常行動データベース fax 送信用紙

送信先：0120-887-311（混雑時には0120-887-432でも可）

送信枚数：2枚

医療機関名(必須)	
医師氏名(必須)	
都道府県名(必須)	都・道・府・県
電話番号	
インフルエンザ定点医療機関(必須)	☐ 該当 ☒ 非該当
報告日	年 月 日
発熱日時(必須)	年 月 日 時頃
異常行動が発現した日時(必須)	年 月 日 時頃
患者の年齢(必須)	歳 月(月齢は1歳未満のみ)
患者の性別(必須)	☐ 男 ☐ 女
最高体温	度
インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明
迅速診断キットによる検査結果	☐ 陽性(A型(H3N2)) ☐ 陽性(A型(H1N1)) ☐ 陽性(A型(亜型不明)) ☐ 陽性(B型) ☐ 陽性(型不明) ☐ 陰性 ☐ 不明
罹患前半年間の予防接種歴(三価)	☐ 無し ☐ 1回 ☐ 2回 ☐ 不明

処方薬剤名	異常行動前の薬剤服用・使用の有無 (必須)	異常行動前の最後の服用・使用日時
タミフル(リン酸オセルタミビル) 服用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
シンメトレル(塩酸アマンタジン) 服用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
リレンザ(ザナミビル)使用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
ラピアクタ(ペラミビル)使用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
イナビル(ラニナミビル)使用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
アセトアミノフェン使用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
テオフィリン使用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
その他服用・使用した薬剤名	1.	月 日 時頃
	2.	月 日 時頃
	3.	月 日 時頃
	4.	月 日 時頃
	5.	月 日 時頃
	6.	月 日 時頃
	7.	月 日 時頃

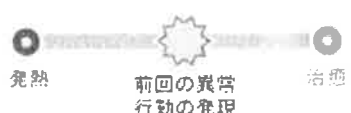
異常行動の分類 (複数回答可) (必須)	☐ 突然走り出す ☐ 飛び降り ☐ 会話中、突然話が通じなくなる ☐ おびえ・恐慌状態 ☐ 無いものが見えると言う ☐ 激しいわごと・寝言 ☐ わめく・泣きやまない ☐ 暴力・興奮状態 ☐ はねる ☐ 徘徊 ☐ 無意味な動作の繰り返し ☐ その他(具体的に _____)
異常行動と睡眠の関係 (必須)	☐ 異常行動は覚醒していて徐々に起こった ☐ 異常行動は眠りから覚めて直に起こった ☐ その他(具体的に _____)
突然の走り出し、飛び降りなど、 予期できない行動であって、 制止しなければ生命に影響が 及ぶ可能性のある行動があり ましたか (必須)	☒ はい ☐ いいえ 具体的に記載してください。特に、突然走り出す、飛び降りの場合には下記のどこから どこへも必ず御記入ください。
突然走り出す・飛び降りの場所	(_____)から(_____)へ
既往歴(複数回答可)	☐ インフルエンザ罹患における異常行動 ☐ 熱性痙攣 ☐ てんかん ☐ 精神・神経疾患(統合失調症、躁うつ病、ADHD、自閉症など) ☐ 寝ぼけ(夜驚、夢中遊行) ☐ 頭部外傷 ☐ 髄膜炎 ☐ その他(具体的に _____)
家族の既往歴(複数回答可)	☐ 熱性痙攣 ☐ てんかん ☐ 精神・神経疾患(統合失調症、躁うつ病、ADHD、自閉症など) ☐ 寝ぼけ(夜驚、夢中遊行) ☐ 頭部外傷 ☐ 髄膜炎 ☐ その他(具体的に _____)
患者の転帰(必須)	☐ 治癒 ☐ 治療中 ☐ 死亡 治療中の場合は、具体的に _____
今回のインフルエンザ罹患の経 過中、複数回の異常行動が発 現しましたか？(必須)	☐ はい ☐ いいえ ☐ 不明 はいの場合にはいつですか 年 月 日 時頃 * 最終ページの解説の図を参照してください。
前回(今シーズンあるいはそれ 以前)のインフルエンザ罹患の 経過中、異常行動が発現しまし たか？(必須)	☐ はい ☐ いいえ ☐ 不明 はいの場合にはいつですか 年 月 日 時頃 * 最終ページの解説の図を参照してください。
その他特記すべき事項	

1枚目と2枚目の結合のため、お手数ですが、再度、ご氏名を記入してください

医師氏名 _____

【インフルエンザ定点以外の医療機関用】

-  今回の異常行動の発現
  前回の異常行動の発現

	前回 今シーズンあるいはそれ以前の インフルエンザ罹患	今回の インフルエンザ罹患
Q. 今回のインフルエンザ罹患の経過中、複数回の異常行動が発現しましたか？  があった場合は「はい」へ		
Q. 前回(今シーズンあるいはそれ以前)のインフルエンザ罹患の経過中、異常行動が発現しましたか？  があった場合は「はい」へ		

インフルエンザに伴う異常な行動に関する調査のお願い

【インフルエンザ定点医療機関用】

インフルエンザ様疾患罹患時及び抗インフルエンザ薬使用時に見られた異常な行動が、医学的にも社会的にも問題になっており、2007年から調査をお願いしております。厚生労働省では、引き続きその背景に関する実態把握をいたしたく、国立感染症研究所により研究を行うこととしておりますので、以下のとおり、当該研究に係る調査への御協力ををお願いします。

なお、全ての医療機関におきましては、重度の異常行動を示した症例の報告をお願いしておりますが、感染症法に基づくインフルエンザ定点医療機関におかれましては、インフルエンザ患者のなかでどのくらいの割合で異常行動が発生しているかの背景を調査するため、重度に加え、軽度の異常行動を示した症例についても報告をお願いします。

〔調査の概要〕

I 重度の異常な行動に関する調査（重度調査）

＜報告対象＞： インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、重度の異常な行動*を示した患者

※飛び降り、急に走り出すなど、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動（別添（報告基準）参照）

＜報告対象期間等＞：平成26年11月～平成27年3月

平成26年11月1日以降、報告対象症例を診察されるごとに、随時、報告してください。

II 軽度の異常な行動に関する調査（軽度調査）

＜報告対象＞： インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、軽度の異常な行動*を示した患者

※何かにおびえて手をばたばたさせるなど、その行動自体が生命に影響を及ぼすことは考えられないものの、普段は見られない行動（別添（報告基準）参照）

＜報告対象期間等＞：平成26年11月～平成27年3月

平成26年11月1日以降、報告対象症例を診察されるごとに、随時、報告してください。

＜報告方法＞：インターネット（下記URLから入力）又はFAX（別紙様式により報告）

URL：<http://953862.net>

ID：御自身のメールアドレスを入れてください

初期パスワード：kansenzen



【インフルエンザ定点医療機関用】

(別添) インフルエンザに伴う異常な行動に関する報告基準 (報告基準)

(重度調査) インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、**重度**の異常な行動を示した患者につき、御報告ください。

(軽度調査) インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、**軽度**の異常な行動を示した患者につき、御報告ください。

インフルエンザ様疾患

臨床的特徴(上気道炎症状に加えて、突然の高熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛を伴うこと)を有しており、症状や所見からインフルエンザと疑われる者のうち、下記のいずれかに該当する者

- 次のすべての症状を満たす者
 - ①突然の発症、②高熱(38℃以上)、③上気道炎症状、④全身倦怠感等の全身症状
- 迅速診断キットで陽性であった者

I 重度の異常な行動

- 突然走り出す
- 飛び降り
- その他、予期できない行動であって、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動

II 軽度の異常な行動

- 会話中、突然話が通じなくなる
- おびえ・恐慌状態
- 無いものが見えると言う
- わめく・泣きやまない
- 暴力・興奮状態
- はねる
- 徘徊
- 無意味な動作の繰り返し
- その他、その行動自体が直ちに生命に影響が及ぶことは考えられないものの、普段は見られない行動

※ 該当する患者さんがおられない場合は、報告の必要はありません。

※ インフルエンザ定点医療機関とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律により都道府県に指定された、毎週インフルエンザの患者数を保健所に報告する医療機関のことです。

※ この調査において報告をお願いする「患者さんに関する異常な行動に関する情報」は、個人情報の保護に関する法律で定められた『個人情報』には該当いたしません。なお、報告いただいた内容(症状や使用薬剤等)に関して、後日、照会を行う場合があるため、「医療機関名」及び「報告医師名」について記載いただくこととしておりますが、これらの情報につきましては、調査研究報告書作成後、直ちに廃棄する予定です。

※ 調査報告に関する疑義・お問い合わせにつきましては、国立感染症研究所感染症疫学センター(連絡先 大日(おおくさ) tel:0120-577-372 fax:03-5285-1129 e-mail:ohkusa@nih.go.jp)まで、お願いします。



インフルエンザ様疾患罹患時異常行動データベース fax 送信用紙

送信先：0120-887-311（混雑時には0120-887-432でも可）

送信枚数：2枚

医療機関名（必須）	
医師氏名（必須）	
都道府県名（必須）	都・道・府・県
電話番号	
インフルエンザ定点医療機関（必須）	☒ 該当 ☐ 非該当
報告日	年 月 日
発熱日時（必須）	年 月 日 時頃
異常行動が発現した日時（必須）	年 月 日 時頃
患者の年齢（必須）	歳 カ月（月齢は1歳未満のみ）
患者の性別（必須）	☐ 男 ☐ 女
最高体温	度
インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明
迅速診断キットによる検査結果	☐ 陽性(A型(H3N2)) ☐ 陽性(A型(H1N1)) ☐ 陽性(A型(亜型不明)) ☐ 陽性(B型) ☐ 陽性(型不明) ☐ 陰性 ☐ 不明
罹患前半年間の予防接種歴(三価)	☐ 無し ☐ 1回 ☐ 2回 ☐ 不明

処方薬剤名	異常行動前の薬剤服用・使用の有無 (必須)	異常行動前の最後の服用・使用日時
タミフル(リン酸オセルタミビル) 服用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
シンメトレル(塩酸アマンタジン) 服用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
リレンザ(ザナミビル)使用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
ラピアクタ(ペラミビル)使用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
イナビル(ラニナミビル)使用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
アセトアミノフェン使用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
テオフィリン使用の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明	月 日 時頃
その他服用・使用した薬剤名	1.	月 日 時頃
	2.	月 日 時頃
	3.	月 日 時頃
	4.	月 日 時頃
	5.	月 日 時頃
	6.	月 日 時頃
	7.	月 日 時頃

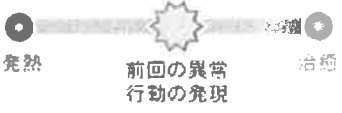


異常行動の分類 (複数回答可) (必須)	☐ 突然走り出す ☐ 飛び降り ☐ 会話中、突然話が通じなくなる ☐ おびえ・恐慌状態 ☐ 無いものが見えると言う ☐ 激しいわごと・寝言 ☐ わめく・泣きやまない ☐ 暴力・興奮状態 ☐ はねる ☐ 徘徊 ☐ 無意味な動作の繰り返し ☐ その他(具体的に)
異常行動と睡眠の関係 (必須)	☐ 異常行動は覚醒していて徐々に起こった ☐ 異常行動は眠りから覚めて直に起こった ☐ その他(具体的に)
突然の走り出し、飛び降りなど、 予期できない行動であって、 制止しなければ生命に影響が 及ぶ可能性のある行動があり ましたか (必須)	☐ はい ☐ いいえ 具体的に記載してください。特に、突然走り出す、飛び降りの場合には下記のどこから どこへも必ず御記入ください。
突然走り出す・飛び降りの場所	()から()へ
既往歴(複数回答可)	☐ インフルエンザ罹患における異常行動 ☐ 熱性痙攣 ☐ てんかん ☐ 精神・神経疾患(統合失調症、躁うつ病、ADHD、自閉症など) ☐ 寝ぼけ(夜驚、夢中遊行) ☐ 頭部外傷 ☐ 髄膜炎 ☐ その他(具体的に)
家族の既往歴(複数回答可)	☐ 熱性痙攣 ☐ てんかん ☐ 精神・神経疾患(統合失調症、躁うつ病、ADHD、自閉症など) ☐ 寝ぼけ(夜驚、夢中遊行) ☐ 頭部外傷 ☐ 髄膜炎 ☐ その他(具体的に)
患者の転帰(必須)	☐ 治癒 ☐ 治療中 ☐ 死亡 治療中の場合は、具体的に
今回のインフルエンザ罹患の経 過中、複数回の異常行動が発 現しましたか？(必須)	☐ はい ☐ いいえ ☐ 不明 はいの場合にはいつですか 年 月 日 時頃 *最終ページの解説の図を参照してください。
前回(今シーズンあるいはそれ 以前)のインフルエンザ罹患の 経過中、異常行動が発現しまし たか？(必須)	☐ はい ☐ いいえ ☐ 不明 はいの場合にはいつですか 年 月 日 時頃 *最終ページの解説の図を参照してください。
その他特記すべき事項	

1枚目と2枚目の結合のため、お手数ですが、再度、ご氏名を記入してください

医師氏名

-  今回の異常行動の発現
  前回の異常行動の発現

	前回(今シーズンあるいはそれ以前)の インフルエンザ罹患	今回の インフルエンザ罹患
Q. 今回のインフルエンザ罹患の 経過中、複数回の異常行動が 発現しましたか？  があった場合は「はい」へ		 発熱 前回の異常 行動の発現 今回の異常 行動の発現
Q. 前回(今シーズンあるいはそれ以前) のインフルエンザ罹患の経過中、 異常行動が発現しましたか？  があった場合は「はい」へ	 発熱 前回の異常 行動の発現 治癒	 発熱 今回の異常 行動の発現

写

健感発 1107 第1号
薬食安発 1107 第1号
平成 26 年 11 月 7 日

各都道府県・政令市・特別区衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長
（ 公 印 省 略 ）

厚生労働省医薬食品局安全対策課長
（ 公 印 省 略 ）

インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に関する研究
に対する協力について（依頼）

標記について、昨年度に引き続き、平成 26 年度厚生労働科学研究事業において、厚生労働省の指定に基づき下記の研究が行われることとなっています。

当該研究に係る調査については、別紙によりインフルエンザ定点のほか主に内科・小児科の約 7 万医療機関に送付されます。各都道府県等各位におかれましては、御多忙のことと存じますが、貴管内医療機関への情報提供等についても重ねて御協力くださいますよう、よろしくお願いします。

なお、本件については、別添写しのとおり、医療関係団体へ協力をお願いしておりますことを、申し添えます。

記

研 究 名：インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に関する研究
（平成 26 年度厚生労働科学研究医薬品等規制調和・評価研究事業）

研究代表者：川崎市健康安全研究所所長 岡部 信彦

※昨年度の報告は次の URL（厚生労働省ホームページ）で御覧いただけます。

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-Iyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000063417.pdf>